

## 獅子舞

獅子の頭づくりものを用いて舞う舞踊のことです。古くは大陸より伝わったもので、着ぐるみの中に人間が入るといふ形式でした。後に民間に広まって、猿楽・田楽に伴って催されるようになり、現在見られる形になります。獅子舞の形式は、一頭の獅子の頭と尾に一人ずつ入り、四つ足の獅子を演じる二人立ちと、ひとりで獅子を演じる一人立ちとに大別されます。一人立ちは、東日本に多く見られる形式です。また、さらに大人数で行うものもあります。獅子舞には、邪悪なものを避ける力の誇示や、農地の保全の祈念、収穫の祝い、野獣の供養、雨乞いなどの意味が込められていると考えられています。

